

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】
〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-550-0747 FAX.042-550-0059

Rotary
第2580地区



ロータリーの
マジック

東京秋川ロータリークラブ
2024-25年度 13号

2024年10月10日
第2391回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	43	24	17	2	58.54%

本日のテーマ

卓話 東京都立五日市高等学校
副校長 梶原 敏幸 様

次回以降のプログラム

10月24日(木) イニシエーションスピーチ 立花 晋也 君
10月31日(木) 夜間例会・卓話
11月6日(水)7日(木) 親睦旅行

第2390回の出席率訂正 会員43名 出席27名 メークアップ7名 欠席7名 免除2名 訂正出席率 82.93%

会長方針

絆と喜び；仲間と笑顔で奉仕を

本日のお客様

- ・東京都立五日市高等学校 副校長 梶原 敏幸 様
- ・東京東村山ロータリークラブ 大会実行委員会 委員長 中条 基成 様

東京東村山ロータリークラブ 大会実行委員会 委員長 中条基成様よりご案内
2024年11月16日(土)、9:45～16:00に西武園競輪場を貸し切り、「多摩湖サイクリングエポリューション」を開催します。このイベントは、東村山青年会議所が主催し、地域や関係団体の協力のもと、交通安全の意識向上と地域活性化を目指した初めての取り組みです。

当日は、交通安全教室や競輪場のバンク体験、子ども向けストライダー競技、さらに11チームのよさこい演舞や2チームによるフラダンスなど、多彩なプログラムをご用意。東村山市の地域通貨「アインPay」を使った企画や、ポリオ募金ブース、希望の風プロジェクトのクラフトビール販売も行われます。これらを通じて、楽しみながら地域社会への貢献や交流を深める機会を提供します。

イベントの実現には、多くのご支援とご協力が必要です。現在、協賛金を募集中です。協賛プランはA～Dの4種類をご用意しております。皆様の温かいご支援をお待ちしております。



会長報告 平宮 力夫 会長

- ・本日は会長報告として、ロータリー杯秋川リーグに関するご案内をいたします。10月20日(日)に決勝戦が行われます。試合開始は午前10時からです。一部の決勝はA面で「多西」と「西秋留」が、二部の決勝はB面で「五日市A」と「日の出」が対戦します。決勝戦終了後には、優勝チームと親睦試合も予定されていますので、ぜひご観戦ください。

また、12月1日(日)にはバーベキューイベントを企画しております。時間は現在調整中ですが、お昼頃の開催を予定しています。青少年委員長を中心に最終調整を進めておりますので、日程を確保いただき、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



幹事報告 佐藤 慶 幹事

- ・10月20日(日)、荒川ロータリークラブ主催で「第3回 宮前公園 世界ポリオデー」が開催されます。興味のある方は準備委員会までお問い合わせください。
- ・また、東京青梅ロータリークラブからのお知らせです。10月15日(火)の例会は臨時変更となり、霞町駅「開花」にて14時から行われます。さらに、10月21日(月)には移動例会として劇団四季「アナと雪の女王」の観劇が予定されています。そして、10月25日(金)は特別休会としてお休みになるとのことです。
- ・当クラブについてのご案内です。本日のアフターデーは、秋田駅前の「とんぼ」にて18時から開催する予定です。お時間のある方は、ぜひご参加いただければと思います。
- ・次に、野球大会関連の情報です。決勝戦がいよいよ10月20日(日)に行われます。また、12月1日(日)には優勝チームとの親睦試合が予定されています。ぜひクラブの皆さまには応援とご参加をお願いいたします。
- ・さらに、今年発生した能登半島の豪雨災害についてもお知らせいたします。被災地への支援金を募っておりますので、皆さまのお気持ちをお寄せいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



— SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **22,000円**

- ・東京東村山IRC 本日は同じ例会日の東京秋川IRCに来ることができ、大変嬉しく思っています。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・島田 幸成 君 結婚祝いをいただき。ありがとうございます。
- ・田中 龍樹 君 梶原副校長様本日はようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしております。
- ・安保 謙一郎 君 早退致します。
- ・平尾 義和 君 早退致します。

— 卓話 — 東京都立五日市高等学校 副校長 梶原 敏幸 様

現状の高校生・高校生活の実態と五日市高校の取り組み

はじめまして、五日市高校の梶原と申します。所沢の出身で、五日市に住み始めて約20年になります。現在は五日市の駅裏に住み、地域に根差した生活を送っています。本日は、兄が所沢東ロータリークラブで活動している縁もあり、この場に参加できることを嬉しく思います。

現代社会は、私たちが育った人口増加の時代とは異なり、人口減少が進む時代に突入しています。令和を生きる子どもたちは、この変化の中で成長していかなければなりません。本校の3年生80名のうち、就職活動を行う生徒は15名程度で、地元企業からも求人をお願いしていますが、求人倍率は非常に高く、就職活動は厳しい状況です。

五日市高校には学力面で課題のある生徒が多く、さまざまな問題を抱える生徒もいます。それでも2050年には、彼らが社会の中心として活躍する世代になります。その頃には生産年齢人口が現在の半分まで減少すると予測され、社会全体で労働力不足が深刻化するでしょう。だからこそ、生徒たちが将来社会に貢献できる人材となれるよう、教育の責任を重く感じています。

例えば、本校の卒業生でフレアバーテンダーとして成功した生徒がいます。彼は在学中、多くの問題を抱えていましたが、卒業後に努力を続け、夢を叶えました。このような成功例は、生徒一人ひとりの可能性を信じ、適切なサポートを行う重要性を改めて教えてくれます。

昭和の時代には、大量生産社会を支えるための労働力育成が求められていましたが、現代社会はそれとは異なる力を必要としています。経済産業省が提唱する「社会人基礎力」は、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの柱から成り、それぞれが自主性、課題解決力、協働力を含んでいます。また、文部科学省の「生きる力」も重要です。これは「確かな学力」「健康・体力」「豊かな人間性」を統合的に育む力で、本校でもこれらを教育方針の中心に据えています。

私たちが目指しているのは、「社会に出て通用する人材」を育てることです。そのため、生徒が主体的に考え、発信する機会を設け、学びの成果を実践できる力を育てています。



◆編集 週報委員会 担当 新井 悠央